

		(情報C) シラバス 2 単位	普通科 第 3 学年	1組～4組 A群選択者	
年間の到達目標		(1) 情報の収集・処理・発信などの情報活用能力を身につける。 (2) 情報の収集・発信における問題点を理解し、それをふまえて適切な情報発信ができるようになる。 (3) 情報を主体的に活用し、情報社会に主体的に参加する態度を身につける。 (4) コンピュータの特性や情報通信ネットワークのしくみなどの基礎知識を習得する。			
教科書・副教材等		高等学校改訂版情報C(第一学習社)			
学期	月	学習内容	学習のねらい		
4	4	序章	現代社会における情報の重要性について学習する。		
		1 社会と情報	情報伝達手段の変化と社会の変遷について考えることができるようになる。 情報リテラシーについて理解できるようになる。		
	5	2 情報機器とコンピュータ	コンピュータの基本的しくみと実践的操作について学習する。		
		第1章 情報のデジタル化	デジタル情報の扱い方について学習する。		
		1 情報のデジタル化のしくみ	アナログとデジタルの特徴を学習し長所を理解できるようになる。 コンピュータを使って、文字、画像、音声の入力と保存ができるようになる。		
		2 情報機器の種類と特性	コンピュータで情報が扱われるときの単位などを理解できるようになる。 デジタルデータはコンピュータを用いて統合的に扱えることを学習する。		
3 情報機器を活用した表現方法		表計算ソフト、ワープロ、ペイントツールを使い文字と画像を組合せた文書をつくる。 プレゼンテーションの構成を論理的に組立て、プレゼンテーションソフトで発表用資料をつくる。 プレゼンテーションを行い相互評価しその評価に基づいて資料を修正する。			
中間考査範囲					
6	6	第2章 情報通信ネットワークとコミュニケーション	ネットワークのしくみとネットワーク管理のための対策を学習する。		
		1 情報通信のしくみ	ワキツプログラムを正しく利用しコンピュータウイルスに対する予防と対処ができるようになる。 暗号化方式と圧縮の基本的な考えについて学習する。		
	7	2 情報通信の効率的な方法	情報量と伝送速度について理解できるようになる。 エラー検出とエラー訂正について学習する。		
7	3	3 コミュニケーションにおけるネットワークの活用	データのどのような形式が適切か判断できるようになる。 電子メールなどネットワーク上のコミュニケーション手段を使うようになる。 メディアに応じた適切なコミュニケーションの形を理解できるようになる。 ネットワークコミュニケーションにおける望ましい態度をとることができるようになる。		
		期末考査範囲 序章～第2章			
(備考) 関心・意欲・態度、思考・判断、技能・表現、知識・理解を授業中の態度や総合課題製作によって学期成績の100%を評価します。					
9	9	第3章 情報の収集・発信と個人の責任	情報収集ではどのような点に配慮すればよいか考えることができるようになる。		
		1 情報の公開・保護と個人の責任	流通情報の発信者の意図を考えることの必要性を理解できるようになる。 プライバシーや知的財産権について学習する。		
	10	2 ネットワークを活用した情報の収集・発信	HTMLなどウェブページについて学習する。 著作物の利用許諾の取り方などを学習する。 収集した資料を分析し適切な形で表現できる。 他人の権利を侵害することなくウェブページを作成することができるようになる。		
		中間考査範囲			
		11	第4章 情報化の進展と社会への影響	身の回りの情報システムについて学習する。	
		12	1 社会で利用されている情報システム	自分が使っているコンピュータのセキュリティについて学習する。 フォールトトレランスやフェイルセーフなどの安全の技術について学習する。	
12	2	2 情報化が社会におよぼす影響	情報化が社会にもたらす影響について学習する。 情報モラルについてどのようなものか理解できるようになる。 情報化が社会にもたらした光の面と影の面について理解できるようになる。		
		期末考査範囲 第3章～第4章			
(備考) 関心・意欲・態度、思考・判断、技能・表現、知識・理解を授業中の態度や総合課題製作によって学期成績の100%を評価します。					
1 総合課題の作成		総合課題の作成			
学年末考査範囲					
(備考) 関心・意欲・態度、思考・判断、技能・表現、知識・理解を授業中の態度や総合課題製作によって学期成績の100%を評価します。					
評価の観点	内 容		評 価 方 法		
関心・意欲・態度 (25) %	情報のデジタル化や情報通信ネットワークの特性に関心を持ち、表現やコミュニケーションにおいてコンピュータなどを進んで活用しようとするとともに、情報社会に主体的に対応しようとする。		おもに学習活動への参加のしかたや態度と観察・実習などの提出物をもとにして評価をします。		
思考・判断 (25) %	表現やコミュニケーションの目的に応じて方法を工夫したり、結果をふまえて改善したりするとともに、情報の収集・発信にともなう問題などをふまえた適切な判断をする。		おもに学習活動への参加のしかたや態度と観察・実習などの提出物をもとにして評価をします。		
技能・表現 (25) %	情報のデジタル化や情報通信ネットワークの特性を生かして、表現やコミュニケーションにおいてコンピュータなどを効果的に活用する。		おもに学習活動への参加のしかたや態度と観察・実習などの提出物をもとにして評価をします。		
知識・理解 (25) %	表現やコミュニケーションにおいてコンピュータなどを効果的に活用するための基礎的な知識を身につけるとともに、情報化の進展が社会におよぼす影響を理解している。		おもに学習活動への参加のしかたや態度と観察・実習などの提出物をもとにして評価をします。		
[担当者からのメッセージ] 授業において忘れ物をしない、抜け出さない、遅刻をしない、欠席をしないこと。提出物は期限を守って完成させて提出すること。					